

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛ちゃん家		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・公認心理士 看護師・介護福祉士などさまざまな専門職が在籍しており、 知識や経験を活かし、より専門的な療育を提供できる。	専門職がそれぞれの視点で評価し、個人のスキルに合った療育 プログラムを思案・検討している。	職員自身がスキルアップし、より精密な療育プログラムを提 供できるよう研修や学びの機会を作る。
2	戸建てを利用したアットホームな療育環境である。	「おうち」にいるような感覚で、子どもたちが身構えせずに通 える環境づくりを心がけている。	自宅や学校で応用できる、生活スキルに繋がりがやすい療育支 援ができるようなプログラム内容を提案していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービス4つの基本活動のうち「地域交流」の場 が少ない。	・放課後の利用なので、療育時間が短いことや、地域行事が事 業所が休みの日曜日に多く参加できていないことなどの要因が 考えられる。 ・外出レクの一環で、地元大学や神社のイベントに参加するこ ともあるが、長時間療育の祝日や土曜日に限定され、参加でき るごどもに偏りがある。	事業所側から地域に向けてイベントを準備し、社会参加の場 を作っていく。
2	保護者会がない。	放課後等デイサービスの基本的役割の保護者支援ができていな いの現状である。	保護者様の不安や悩みを職員だけではなく、保護者様同士で も共感したり、情報共有の場を設定できるよう検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	愛ちゃん家
------	-------

公表日 2025年3月24日

利用児童数 2025年 2月 8日 34名

回収数 19枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17		1	1	活動しているところを見ていないため	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2		2		
	生活空間は、お子様にわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2				
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19					
適切な 支援の 提供	5 お子様のことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1				
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1		2		
	お子様のことを十分理解し、お子様と保護者様のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	19					
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1				
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	7		5		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	7		3		
	15 日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	18	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者様同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	4	6		
	19 お子様や家族様からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子様や保護者様に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2				

	20	お子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者様に対して発信されていますか。	11	5		3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3		5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	5		6	
	25	事業所より、お子様の安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		3	
満足度	27	お子様は安心感をもって通所していますか。	19				
	28	お子様は通所を楽しみにしていますか。	16	1		2	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
愛ちゃん家		2025年 3月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		利用人数が多い場合は、部屋を区切る・分けるなどで対応しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12		配置基準のほか、児童が来所し始める午後に児童指導員を増員して対応しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		玄関に段差がありますが、室内は段差はありません。車椅子ユーザーが入れるトイレも設置されています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		活動後、毎日清掃・消毒しています。消毒はおやつ前など必要随時行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		大きな活動部屋のほかに小さな活動室・機能訓練室があり、どちらも個別活動に使用しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		毎朝、短時間ではありますが前日の活動の振り返りを行っています。午後勤務の職員への周知は現在検討中です。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		保護者様にアンケートを実施し、記入いただいた内容を基に業務改善の検討をしています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		不定期ではありますが、職員面談や定期会議内でも業務改善の内容について検討しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		12	外部評価は受けておりません。	今後は評価を受けられるような取り組みを検討します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		内部研修は定期的に行っております。外部研修にも参加しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		ホームページにて公表されています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		保護者様のニーズは面談のほか、送迎時やSNSにて情報収集を行い、支援会議で検討し計画書に反映しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		毎朝の申し送り時や、支援会議・事業所会議内で検討事項として挙げています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		毎日の療育活動プログラムは、支援計画に沿って立てております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		PC入力ツールを使用し管理・確認しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		日々のこどもの様子・家庭状況・学校での様子などを踏まえて支援計画を立て、支援を実施しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		事業所会議・業務内で検討し周知しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		個別・小集団・大集団、作業・制作・運動、年齢別、さまざまなパターンや活動内容を検討し提供しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		個別・集団、それぞれの課題を検討し計画しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		職員配置やプログラム内容、こどもの様子に合わせた配慮のポイントなどの周知を行っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		打合せができない場合は、支援内容が記載された日報を確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		連絡ノートやPCツールに記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		年2回もしくは必要時に随時モニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12		基本活動を織り交ぜた活動ができるよう工夫しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		活動内容によっては、子どもが選択し活動し参加しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		児童発達支援管理責任者や児童指導員、機能訓練士が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		各関係機関と連携を図っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		必要時には保護者様から承諾いただき、連絡を取っております。下校時刻の確認は、子どもに配布されたもの・保護者様の協力(PDF)をいただき	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	12		就学前児童(1年生)をお受けしたことはありませんが、児童発達支援事業所から移管した子どもに関しましては、都度引継ぎを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12		支援者会議を行い情報共有をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12		必要時に行っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	12		地域のイベントに参加しています。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	12		地区自立支援協議会に参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		保護者様とは送迎時や連絡ノート、SNS、電話などで連絡を取り、随時情報を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12		ご家族保護者様の困りごとや不安を共有し、できる限りの情報提供やアドバイスを行っております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		保護者様から送迎時や連絡ノート、SNS、電話などで連絡を取り、随時情報を提供していただき、モニタリングや支援会議で話し合っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		計画書を説明しご了承いただいたからサインをいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		保護者様とは送迎時や連絡ノート、SNS、電話などで連絡を取り、随時情報を共有しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12		現在父母会はありません。	保護者アンケート結果で「父母会」の希望もありましたので、今後検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		窓口は理事長となっておりますが、事業所管理者、または現場職員が対応しています。苦情の内容にかかわらずすぐに共有し対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		活動中の写真を個別にSNSで保護者様に送ったり、大勢の方に見てもらう場合はブログで公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		漏洩のないよう十分注意しています。また写真公開時は、ご家族の希望に沿い、加工も行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		特性に合わせて対応させていただいています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		12	特性上、コミュニケーションが苦手な子もいるので事業所内でのみ行っております。	事業所内イベントで練習をし、地域の皆様に参加していただくことを目標にすることも検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		年2回、子どもたちと避難訓練を行っています。職員周知は事業所内研修で行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		緊急時マニュアルなどを、事業所内の目につきやすい場所に設置し、各自見直しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		事前にわかっている場合は与薬承諾書へのサイン、臨時の場合は先に口頭で許可をいただき、書類にサインをいただいております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		おやつ提供時、細心の注意を払って行っております。また、不明なものは原材料の写真を撮り保護者様に確認を取ってから提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		子どもが安全に支援を受けられるよう、常に心がけております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		必要時に情報共有しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		小さな危険もヒヤリハットとして共有し、再発がないよう検討し安全確保に務めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		事業所内研修で周知しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		車椅子ユーザーが利用しています。ご家族の同意のもと転倒転落防止のため腰・足ベルトを使用する場合があります。予測される場合は計画書に記載しています。		